

株式会社日本格付研究所（JCR）は、以下のとおり信用格付の結果を公表します。

DOWA ホールディングス株式会社（証券コード:5714）

【据置】

長期発行体格付	A+
格付の見通し	安定的
債券格付	A+
国内CP格付	J-1

■格付事由

- (1) DOWA グループの純粋持株会社。環境・リサイクル、製錬、電子材料、金属加工、熱処理の5つの中核事業会社を傘下に有する。非鉄金属の生産から加工、リサイクルまで循環させるビジネスモデルを構築している。当社はグループの経営資源を配分する機能を担い、経営の一体性が強いことから、格付にはグループ全体の信用力を反映させている。
- (2) 当面の業績は底堅いと考えられる。需要先業界や収益源が分散しており、景気変動によって業績が左右されにくい事業ポートフォリオとなっている。また、10/3 期以降は全セグメントで黒字を維持するなど、各事業とも強固な収益基盤を有している。他方、電子材料事業の主力製品である太陽光パネル向けの銀粉はユーザーの生産プロセスの変化などを要因として販売数量が減少しており、当面回復を見込みにくい。ただ、銀粉以外の電子材料の拡販や、海外における廃棄物処理拠点の立ち上げ、リサイクル原料の集荷拡大など事業基盤の強化が着実に進んでおり、全体では収益力が低下する可能性は低い。財務内容は良好な水準が保たれている。以上を踏まえ、格付を据え置き、見通しを安定的とした。
- (3) 23/3 期経常利益は 570 億円（前期比 25.1%減）と過去最高益となった 22/3 期に次ぐ利益が計画されている。原燃料の値上がりや、銀粉などの販売数量の減少が減益要因となるものの、非鉄金属市況が高水準にあることや円安によって一定程度カバーされる見込みである。今後は電力価格がもう一段上昇すると想定され、24/3 期以降の利益を下押しすると考えられる。ただ、各事業でコストアップに対する販売価格への反映が進展するとみられ、収益性が大きく悪化する懸念は小さい。
- (4) 23/3 期第 2 四半期末の DER は 0.4 倍とおおむね 22/3 期末並みの水準となった。今後は需要拡大が見込まれる製品の増産対応や老朽更新などの設備投資が計画されている。ただ、投資額はおおむね営業キャッシュフローに見合った水準となる見通しである。また、自己資本の拡充も進むとみられ、引き続き現状程度の財務内容が維持され则认为られる。

（担当）水川 雅義・近藤 昭啓

■格付対象

発行体：DOWA ホールディングス株式会社

【据置】

対象	格付	見通し
長期発行体格付	A+	安定的

対象	発行額	発行日	償還期日	利率	格付
第 4 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2018 年 9 月 14 日	2023 年 9 月 14 日	0.140%	A+
第 5 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2019 年 9 月 18 日	2024 年 9 月 18 日	0.110%	A+
第 6 回無担保社債（社債間限定同順位特約付）	100 億円	2021 年 9 月 24 日	2026 年 9 月 24 日	0.100%	A+

対象	発行限度額	格付
コマーシャルペーパー	450 億円	J-1

格付提供方針等に基づくその他開示事項

- 信用格付を付与した年月日：2023 年 1 月 10 日
- 信用格付の付与について代表して責任を有する者：殿村 成信
主任格付アナリスト：水川 雅義
- 評価の前提・等級基準：
評価の前提および等級基準は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に「信用格付の種類と記号の定義」(2014 年 1 月 6 日) として掲載している。
- 信用格付の付与にかかる方法の概要：
本件信用格付の付与にかかる方法の概要は、JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/>) の「格付関連情報」に、「コーポレート等の信用格付方法」(2014 年 11 月 7 日)、「非鉄金属」(2011 年 7 月 13 日)、「持株会社の格付方法」(2015 年 1 月 26 日)、「国内事業法人・純粋持株会社に対する格付けの視点」(2003 年 7 月 1 日) として掲載している。
- 格付関係者：
(発行体・債務者等) DOWA ホールディングス株式会社
- 本件信用格付の前提・意義・限界：
本件信用格付は、格付対象となる債務について約定通り履行される確実性の程度をもって示すものである。
本件信用格付は、債務履行の確実性の程度に関しての JCR の現時点での総合的な意見の表明であり、当該確実性の程度を完全に表示しているものではない。また、本件信用格付は、デフォルト率や損失の程度を予想するものではない。本件信用格付の評価の対象には、価格変動リスクや市場流動性リスクなど、債務履行の確実性の程度以外の事項は含まれない。
本件信用格付は、格付対象の発行体の業績、規制などを含む業界環境などの変化に伴い見直され、変動する。また、本件信用格付の付与にあたり利用した情報は、JCR が格付対象の発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものであるが、当該情報には、人為的、機械的またはその他の理由により誤りが存在する可能性がある。
- 本件信用格付に利用した主要な情報の概要および提供者：
・格付関係者が提供した監査済財務諸表
・格付関係者が提供した業績、経営方針などに関する資料および説明
- 利用した主要な情報の品質を確保するために講じられた措置の概要：
JCR は、信用格付の審査の基礎をなす情報の品質確保についての方針を定めている。本件信用格付においては、独立監査人による監査、発行体もしくは中立的な機関による対外公表、または担当格付アナリストによる検証など、当該方針が求める要件を満たした情報を、審査の基礎をなす情報として利用した。
- 格付関係者による関与：
本件信用格付の付与に係る手続には格付関係者が関与した。
- JCR に対して直近 1 年以内に講じられた監督上の措置：なし

■留意事項

本文書に記載された情報は、JCR が、発行体および正確で信頼すべき情報源から入手したものです。ただし、当該情報には、人為的、機械的、またはその他の事由による誤りが存在する可能性があります。したがって、JCR は、明示的であると黙示的であると問わず、当該情報の正確性、結果、的確性、適時性、完全性、市場性、特定の目的への適合性について、一切表明保証するものではなく、また、JCR は、当該情報の誤り、遺漏、または当該情報を使用した結果について、一切責任を負いません。JCR は、いかなる状況においても、当該情報のあらゆる使用から生じうる、機会損失、金銭的損失を含むあらゆる種類の、特別損害、間接損害、付随的損害、派生的損害について、契約責任、不法行為責任、無過失責任その他責任原因のいかんを問わず、また、当該損害が予見可能であると予見不可能であると問わず、一切責任を負いません。また、JCR の格付は意見の表明であって、事実の表明ではなく、信用リスクの判断や個別の債券、コマーシャルペーパー等の購入、売却、保有の意思決定に関して何らの推奨をするものでもありません。JCR の格付は、情報の変更、情報の不足その他の事由により変更、中断、または撤回されることがあります。格付は原則として発行体より手数料をいただいております。JCR の格付データを含め、本文書に係る一切の権利は、JCR が保有しています。JCR の格付データを含め、本文書の一部または全部を問わず、JCR に無断で複製、翻案、改変等を行うことは禁じられています。

■NRSRO 登録状況

JCR は、米国証券取引委員会の定める NRSRO (Nationally Recognized Statistical Rating Organization) の 5 つの信用格付クラスのうち、以下の 4 クラスに登録しています。(1)金融機関、ブローカー・ディーラー、(2)保険会社、(3)一般事業法人、(4)政府・地方自治体。米国証券取引委員会規則 17g-7(a)項に基づく開示の対象となる場合、当該開示は JCR のホームページ (<https://www.jcr.co.jp/en/>) に掲載されるニュースリリースに添付しています。

■本件に関するお問い合わせ先

情報サービス部 TEL : 03-3544-7013 FAX : 03-3544-7026

株式会社 日本格付研究所

Japan Credit Rating Agency, Ltd.
信用格付業者 金融庁長官(格付)第 1 号

〒104-0061 東京都中央区銀座 5-15-8 時事通信ビル